

- 問1 清がイギリスに敗れたことを受け、江戸幕府が従来の異国船打払令を改めて、外国船に対して薪や水を与えるようになったきっかけとなった戦いを何という？
- 問2 四国艦隊下関砲撃事件を引き起こし、幕末に尊王攘夷運動の拠点となっていた藩はどこ？
- 問3 1853年にペリーが浦賀へ来航した際に率いてきた、当時の日本人が驚いた蒸気船などの近代的な軍艦を何という？
- 問4 ペリー来航の結果、1854年に日本がアメリカと結んだ開国のための条約を何という？
- 問5 1854年に日米和親条約を締結し、日本に開国を迫った国はどこ？
- 問6 南北戦争中の1863年、戦場跡地でリンカーンが述べた、民主主義の理想を示した演説を何という？
- 問7 1853年に軍艦を率いて浦賀に来航し、日本に開国を求めたアメリカの提督は誰？
- 問8 1866年、坂本龍馬の仲介によって薩長同盟を締結した、薩摩藩の指導者は誰？
- 問9 産業革命によって発明され、黒船の動力として用いられた技術を何という？
- 問10 幕末の貿易において、国内外での銀に対する金の価格差を利用して、金が海外へ大量に流出した原因となった要素を何という？
- 問11 南京条約によって、清がイギリスに割譲した地域を何という？
- 問12 幕末の貿易開始後、輸出品が大量に外へ出たことや通貨の価値が不安定になったことで、国内の品物が不足し、物価が急騰した現象を何という？
- 問13 1864年に長州藩による外国船砲撃への報復として、イギリス・フランス・アメリカ・オランダが下関を攻撃するために編成した艦隊を何という？
- 問14 1866年、対立していた薩摩藩と長州藩を仲介し、両者の和解を実現させた土佐藩出身の人物は誰？
- 問15 開国直後、当時の日本の貨幣制度の仕組みを悪用され、海外へ大量に流出したものは何という？
- 問16 幕末の政治思想で、天皇を敬い大切にするという考えを何という？
- 問17 1858年に江戸幕府がアメリカなどと結んだ、自由貿易の開始を認めることになった条約を何という？
- 問18 幕府が1825年に出した、近づいてくる外国船を武力で追い払うように命じた法令を何という？
- 問19 江戸幕府において、将軍の補佐として幕政の最高責任者であった職名を何という？
- 問20 イギリスと清が戦ったアヘン戦争の講和条約が結ばれたのは何年？
- 問21 1858年に日本が結んだ日米修好通商条約において、日本が認めてしまった、外国人が日本で罪を犯しても日本の法律で裁くことができない権利を何という？

答え合わせ・解説

問1	答え アヘン戦争	アヘン戦争では、蒸気船を擁するイギリス軍に対し、清の軍隊は全く歯が立ちませんでした。この敗北の結果、清は開国を余儀なくされました。その様子をオランダ風説書を通じて知った江戸幕府は、当時の日本軍勢力では欧米列強には勝てないと判断しました。
問2	答え 長州藩	長州藩は幕府の命令に反して、関門海峡を通過する外国船を砲撃しました。これに対し、英・米・仏・蘭の四国艦隊が報復として下関を攻撃し、長州藩は敗北を喫しました。
問3	答え 黒船	1853年、アメリカ東インド艦隊司令長官ペリーは4隻の軍艦を率いて浦賀沖に現れました。船体が黒く塗られていたことから、当時の人々はこれらを黒船と呼びました。圧倒的な軍勢力を誇示された幕府は、大きな衝撃を受けました。
問4	答え 日米和親条約	この条約によって、日本はアメリカ船に対する薪（たきぎ）や水、食料の補給を認めることとなりました。また、下田と箱館の二港が開港され、アメリカ領事の駐在も認められました。鎖国体制を根本から覆す歴史的な転換点です。
問5	答え アメリカ	東インド艦隊司令長官のペリーを派遣し、圧倒的な艦隊の力で幕府に開国を迫りました。日本側の外交努力もあり、武力衝突を避ける形で日米和親条約を締結させることに成功しました。
問6	答え ゲティスバーグ演説	リンカーンはわずか数分の演説の中で「人民の、人民による、人民のための政治」という言葉を使い、民主主義の理想を簡潔かつ力強く訴えました。国家の分裂という危機を乗り越え、国民が一致団結して自由と平等を目指すべきだと主張しました。
問7	答え ペリー	ペリーはアメリカ合衆国政府の命令を受け、4隻の蒸気船（黒船）を率いて浦賀に來航しました。大統領の親書を幕府に手渡し、開国と通商を強く要求しました。武力を背景にした圧倒的な威圧感は、幕府に拒否を許さない強烈なインパクトを与えました。
問8	答え 西郷隆盛	西郷隆盛は、長州藩の木戸孝允らと密談を重ね、軍事同盟である薩長同盟を成立させました。これにより、倒幕の力は飛躍的に高まりました。彼は武力倒幕の中心人物として、その後も倒幕を強く推進しました。
問9	答え 蒸気機関	蒸気機関は、水を沸騰させて発生する蒸気の力で機械を動かす技術です。この技術を船舶に応用したものが蒸気船であり、風の力に頼らずに航行できるため、当時の軍勢力や輸送力の象徴となりました。ペリーが使用した黒船も、この蒸気機関による強力な推進力を備えていました。
問10	答え 金銀交換比率	当時の日本は「金：銀＝1：5」程度でしたが、欧米では「1：15」程度でした。そのため、外国商人は日本へ銀を持ち込み、割安な比率で金と交換して持ち出すことで莫大な利益を得ました。この結果、日本の金が急速に海外へ流出し、幕府の財政は悪化しました。
問11	答え 香港	香港島は、イギリスの東アジアにおける貿易と軍事の拠点としてこの条約で割譲されました。この島は後に近代的な港湾都市へと発展し、イギリスの対中進出の窓口として重要な役割を果たしました。
問12	答え 品不足	輸出の増加により国内の在庫が減り、供給が不足しました。さらに、金貨の流出や幕府による貨幣改鑄が重なり、お金の価値が下がって物価が異常なほど高騰しました。庶民にとって不可欠な米の価格も上がり、生活は困窮を極めました。
問13	答え 四国艦隊	1864年、イギリス・フランス・アメリカ・オランダの四力国は艦隊を編成し、下関を砲撃しました。この「四国艦隊下関砲撃事件」により、長州藩の砲台は破壊され、多額の賠償金も課せられることになりました。
問14	答え 坂本龍馬	土佐藩を脱藩した坂本龍馬は、倒幕のためにはこの二藩の協力が必要であると考えました。そこで、両藩の指導者たちを引き合わせ、1866年に薩長同盟を成立させました。また、海援隊の前身となる亀山社中を作り、貿易や輸送にも力を注ぎました。
問15	答え 金貨	当時の日本は金銀比価が金安だったため、外国人商人が銀を持ち込んで日本の金貨と交換し、それを海外で金と交換して大きな利益を得る「金銀交換比率の差を利用した投機」が横行しました。これにより、国内の金貨が急速に海外へ流出しました。
問16	答え 尊王	尊王思想は、天皇をあがめるという考え方です。これに「外国勢力を排除せよ」という攘夷思想が結びつき、「尊王攘夷」という強力な運動が生まれました。幕府の統治に疑問を持つ志士たちの精神的な支柱となりました。
問17	答え 日米修好通商条約	大老の井伊直弼が朝廷の許可を得ないまま独断で調印しました。この条約では、日本が外国に対して関税を決める権利（関税自主権）がないことや、外国人の犯罪を日本が裁けないこと（領事裁判権の承認）など、日本に不利な不平等条約でした。
問18	答え 異国船打払令	1825年、江戸幕府は「異国船打払令」を出し、日本に近づく外国船を無条件で攻撃して追い払うよう命じました。これにより、武力による攘夷の姿勢が明確になりました。
問19	答え 大老	大老は幕政の最高責任者であり、緊急時の意思決定を行いました。幕末には井伊直弼が就任し、朝廷の許可を得ずに日米修好通商条約を調印するなど、強権的な政治を推進しました。
問20	答え 1840年	清政府がアヘンの取り締まりを強化したことに対し、イギリスが武力介入したのがアヘン戦争です。1840年に始まったこの戦いは、近代的な武器を持つイギリスの圧倒的勝利に終わりました。戦後の南京条約により、清は多額の賠償金と領土の割譲を強いられました。
問21	答え 領事裁判権	日米修好通商条約は、日本にとって「領事裁判権」を認めず、「関税自主権」もないという、主権を侵害された極めて不平等な内容でした。領事裁判権とは、日本にいる外国人が罪を犯しても、日本が日本の法律で裁くことができず、その外国人の国の領事が自国の法律で裁く権利のことです。